

知っているようで知らない

## 「UFO と ウィルス」



**イ**ンターネットのおかげで便利になった現代。パソコンなしでの生活は考えられないものになりました。

ですが、皆さんも一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。コンピュータの調子がおかしくなったり、起動しなくなったり、また、最悪の場合は、パソコンの中の大切な情報が盗み出されたりする「コンピューターウイルス」のことを。

ですが「コンピューターウイルス」は使い方によって、人々を楽しませることもできる一面を持ったプログラムでもあります（第1回にご案内した「Yankee Doodle」や「メリークリスマス」などが代表作ですね。）

今回は地球の危機をコンピューターウイルスが救ってくれた事例をご案内します。

**わ**たしたちの地球は、美しく、豊かな資源に恵まれ、海と陸地を持ち、多くの生命を育んでいる非常に稀有な天体です。当然のように侵略の危機にさらされており、多くのUFO目撃情報が記録されています。

メキシコにあるマヤ文明の古代都市遺跡パレンケの、「碑文の神殿」の地下から発見された宇宙船の操縦をしている宇宙飛行士のような「パレンケの石棺」は有名です。



## 米国防総省、「UFO映像」3本を公開＝正体不明と結論

【ワシントン時事】米国防総省は2020年4月27日、海軍機パイロットが不審な飛行物体を撮影した映像3本を公開しました。過去にメディアに流出し、未確認飛行物体（UFO）の可能性があると波紋を広げていた映像ですが、同省が公式に開示したのは初めてです。

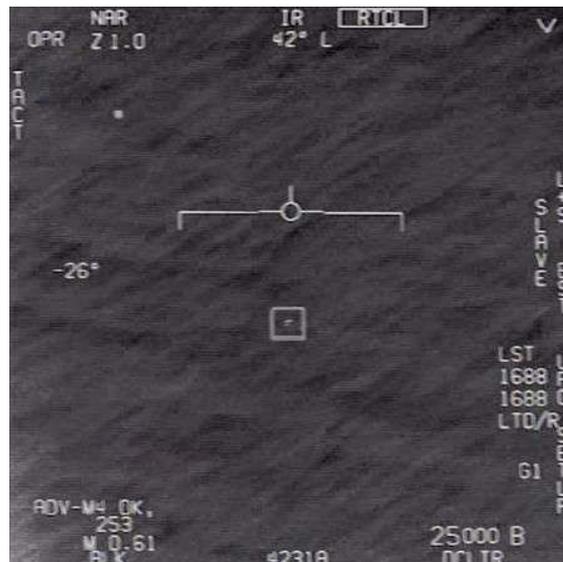


© 時事通信 提供 米国防総省が27日公開した、海軍機パイロットが撮影した不審な飛行物体の映像



© 時事通信 提供 米国防総省が27日公開した、海軍機パイロットが撮影した不審な飛行物体の映像

3本のうち1本は2004年11月、残る2本は15年1月に撮影された。いずれも白黒の映像で、30～75秒ほどの長さ。物体が海上を高速で飛んだり、空中で回転したりする様子が撮影されています。



© 時事通信 提供 米国防総省が27日公開した、海軍機パイロットが撮影した不審な飛行物体の映像  
(中央の四角に囲まれた中)

国防総省は声明で「過去に流出した映像の真偽や、映像に続きがあるのかなどの臆測を取り除くために公開に踏み切った」と説明。問題の物体については「依然として正体不明のまま」と結論付けました。

※ ニューヨーク・タイムズ紙によると、国防総省は07～12年、「先進航空宇宙脅威識別計画」と名付けた事業で、UFOと疑われる映像などを分析していた。

それでは、これら地球に襲来する UFO が実際に脅威となったときどのような出来事があったのかを、映画「インデペンデンス・デイ」から見てみましょう。



## 7月2日 侵略

アメリカ独立記念日を控えた7月2日。空を覆うような巨大宇宙船が、ワシントン D.C.、ニューヨーク、ロサンゼルス上空に突如出現します。宇宙船はアメリカだけではなく、世界中の大都市上空にも出現し、人類はパニックに陥ります。

アメリカ政府は、エイリアンと交信を試みますが、これに失敗。ケーブルテレビの技師デヴィッドは、衛星通信にノイズとして隠されていた信号がエイリアンの攻撃指令のカウントダウンだと気づき、元妻でホワイトハウス首席報道官コニーを通してホイトモア大統領に進言します。

しかし時すでに遅く、巨大宇宙船からの攻撃により、世界の主要な大都市は破壊され、廃墟と化してしまいます。



## 7月3日 廃墟

海兵隊航空部隊はエイリアンに反撃を開始します。しかし宇宙船はシールドで防御され、部隊はスティーヴン・ヒラー大尉を除き、全滅します。北米防空司令部も破壊されたアメリカ首脳部は、最終手段として核兵器使用の決断を迷う中、宇宙人の極秘研究施設「エリア51」に向かいます。

大統領はスティーヴンが捕虜にしたエイリアンとのテレパシーで、彼らがイナゴのように惑星から惑星を渡り歩き、資源を食い尽くす種族だと知ります。地球も同じ運命を辿ると悟った大統領は、核兵器の使用を決断、使用するも宇宙船はシールドに守られており無傷です。



## 7月4日 反撃

アメリカ独立記念日の7月4日。人類には打つ手がなくなったかに思われたが、デヴィッドは、父ジュリアスとの会話で【コンピューターウイルス】をエイリアンの母艦に感染させ、シールドを一時的に無効化した間に、全世界で一斉攻撃する作戦を思いつきます。

大統領もこの作戦に全てをかけ、世界各国に呼びかけ、地球軍としての世界同時反撃計画を準備します。



## 7月4日 宣言

出撃を控えた夜明け前、自身もパイロットとして出撃する大統領は、「今日から7月4日は人類全体の独立記念日（インデペンデンス・デイ）だ」と、基地の皆に向けて宣言します。捕獲したエイリアンの小型機に搭乗したデヴィッドとスティーヴンは、**コンピューターウイルスを宇宙船母艦に感染させる**ことに成功し、シールドは無効化します。アメリカだけでなく世界各地で、宇宙船に総攻撃をかける、戦闘機とエイリアンの戦闘機との壮絶な空中戦が展開されます。



ついに宇宙船が主砲を発射しようとした時、寄せ集めの民間パイロットとして戦闘に参加したラッセル・ケイスが、残っていたミサイルを発射しようとしたときに発射装置が故障し、最後のミサイルが発射できなくなってしまいます。ラッセル・ケイスは家族に愛の言葉を残して、ミサイルを抱いた戦闘機ごと敵宇宙船の、主砲へと突入します。この攻撃によって宇宙船は崩壊し、人類は勝利を手にします。

以上、コンピューターウイルスがシールドを無力化して地球を救った映画「インデペンステイ」を、ご案内しました。もちろん、今回の話はフィクションです。

コンピューターウイルスに感染したかな？ と思ったり、  
コンピュータの動きがおかしい場合お気軽にご相談ください。